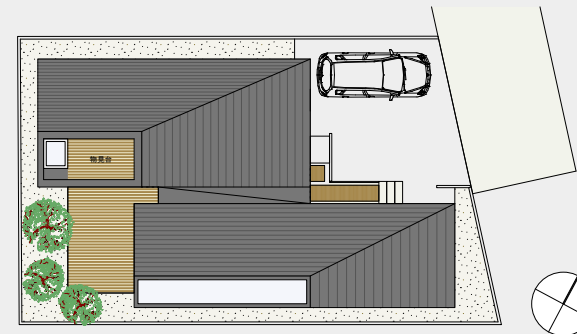
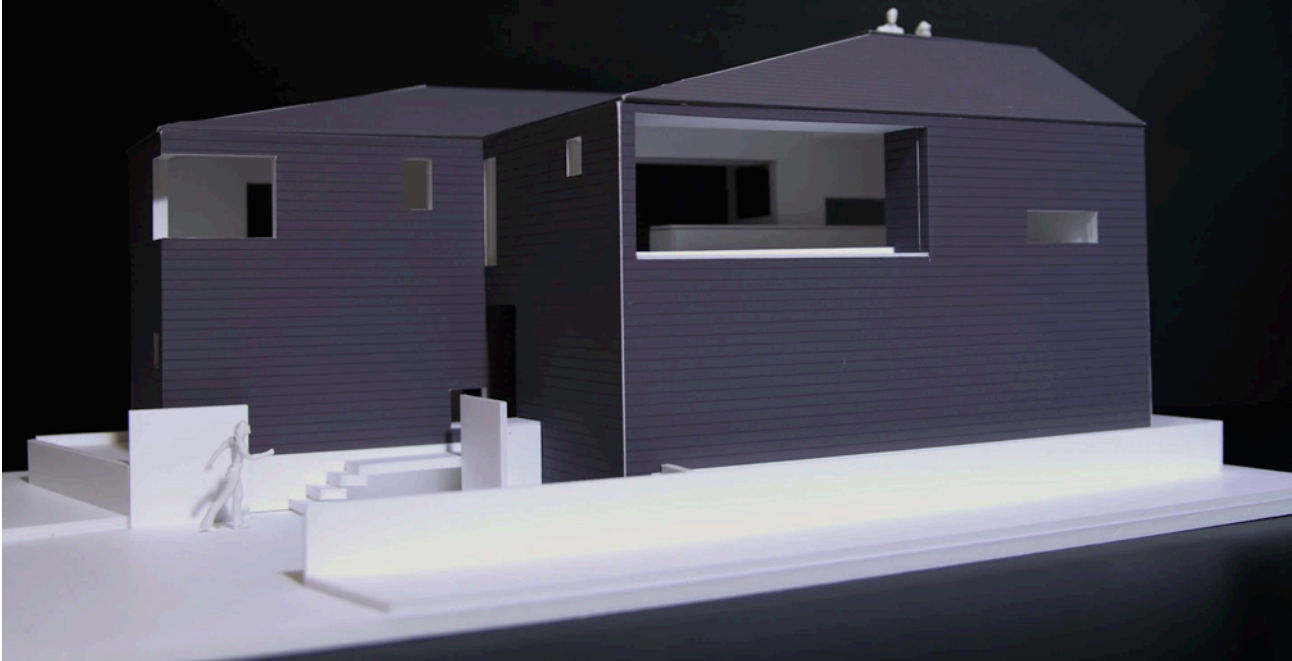


=和楽の家=

環境に配慮した外断熱を施した外皮の内側に家族のつながりを意識したワンルーム空間を展開し、
これからの家族の成長とともにライフステージを豊かに形づくる空間を構成しています。



配置図 S=1/200

計画概要

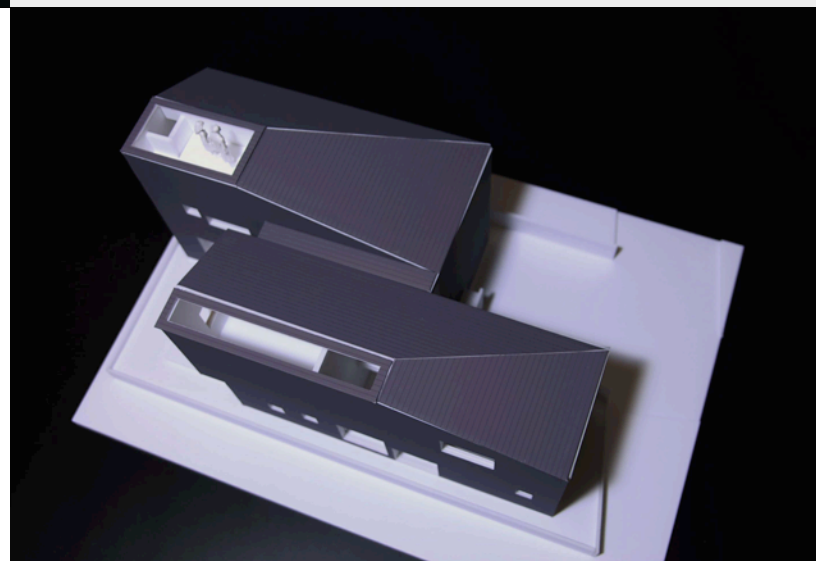
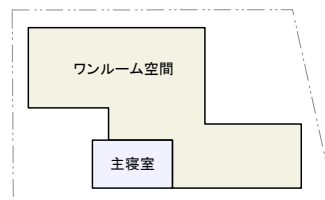
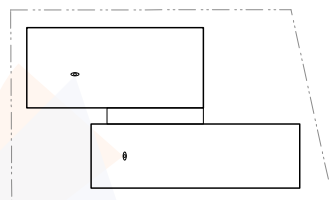
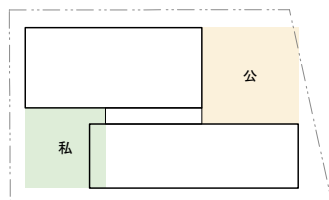
用途地域	第二種低層住居専用地域	防火指定	準防火地域
敷地面積	185.75㎡	高度地区	第二種高度地区
建築面積	90.26㎡	規模	地上2階
延床面積	162.30㎡	構造	在来軸組工法
1階	74.53㎡	日影規制	4時間/2.5時間
2階	87.77㎡	最高高さ	7.16m
建蔽率	48.59% (<50%)		
容積率	87.38% (<150%)		

空間構成について

ボリュームの角を切り取り、庭とします。
この庭の延長上には隣家の庭があり、借景を
兼ねた奥行きのあるより広い庭となります。

庭は建物のどこからも眺めることができます。
また、自宅の一部が視界に入るためより安心
感のある落ち着いた印象が得られます。

2階部分は、家族のつながりを意識したワン
ルーム空間を展開し、将来の家族の成長に
合わせて変化をしていきます。



オープンテラス

花火大会はこちらからご覧になって下さい。もし、北側に建物ができた場合は物見台でご覧になって下さい。

ダイニング

ダイニングの床レベルをキッチンよりも高くすることでキッチンに立った奥様と家族の視線が合うように配慮しました。

リビング

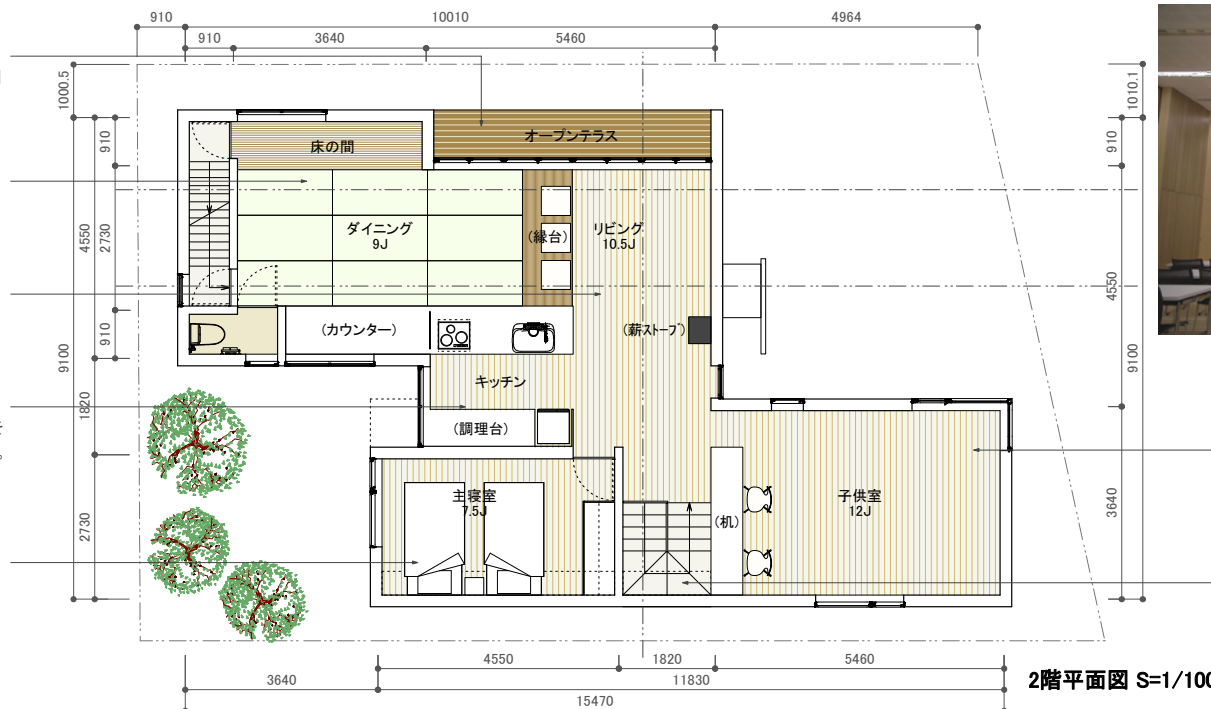
ダイニングとの間に上框を兼ねた縁台を設けます。また、ここにクッションを置くことでリビングのソファとして使うこともできます。

キッチン

カウンターの向こうには大きな窓からゆったりと景色を望むことができるので家事のストレスが解消されます。また、2階の中心に配置することで家族の様子を伺いながら家事をすることができます。

主寝室

上部にトップライトを設け、ベッドに横になった際は空を眺めることも可能です。
※調光用ブラインドを設けます。



2階平面図 S=1/100

コントロールルーム

スタジオに併設するのは当然ですが、2階へ直接行くことができるよう裏階段も併設しました。

ミニキッチン

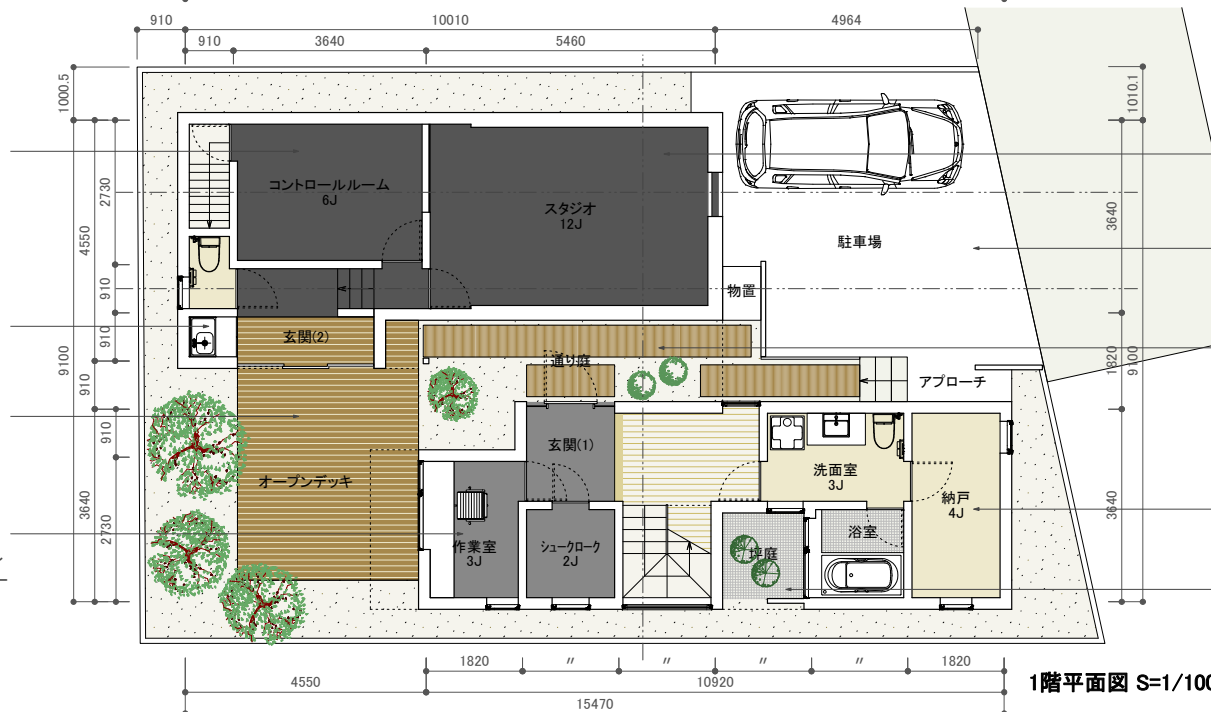
2階へ行かなくても電気ポットを置くことでコーヒー等を用意することができます。

オープンデッキ

西側に隣接する建物は隣地境界から大分離れた所に建てられているので、ここにプライベートスペースを設け、南西に開く良好な環境を実現します。

作業室

2階の日常生活の場からちょっとだけ距離をおき、少しでも作業に集中できる場とします。また、目の前のオープンデッキが仕事の合間にほっとできる空間にもなるはずです。



1階平面図 S=1/100



木ルバー吸音壁参考写真

子供室

将来、分割することで子供室を2室にします。竣工時は大部屋とします。

トップライト

階段上部にトップライトを設け、1階玄関まで自然光を取り込みます。

スタジオ

前提として隣家の近くに配置しないように配慮し、駐車場に隣接させ、機材の搬入を容易にします。

駐車場・物置

車二台分駐車スペースを確保します。また、バイク整備道具をしまう物置を併設します。

通り庭

分棟配置されたボリュームによって生じたつなぎの間となる外部空間は、外部から連続するアプローチであると同時に私的な領域でもある京都の町家に見る通り庭であるかのように親しき仲間だけが通ることができる約束事のような雰囲気を出します。

納戸

二面以上の開口部を確保するため建物の角に配置。更に対角線上に窓を設けることで通風を確保します。

坪庭

季節に合わせて鉢に入った観葉植物を並べ、入浴時間を楽しんで下さい。
不要な場合は物干し場にも可能です。

オープンテラス

花火大会はこちらからご覧になって下さい。

客間

4.5畳のスペースを確保します。来客時は上吊式の襖により部屋を分けることを可能とします。

普段はダイニングと連続した家族室としての利用が可能なように敷居を設けず畳が連続した仕上げとします。また、客間と広縁の床レベルをフラットにすることで広がり感を創出します。

ダイニング

ダイニングの床レベルをリビングよりも高くすることでキッチンに立った奥様とダイニングに座っている家族の視線が合うように配慮しました。

キッチン

カウンターに隣接した大きな窓からゆったりと景色を望むことができるので家事のストレスが解消されます。また、調理台を中心に360°どこからでも作業できるようにします。

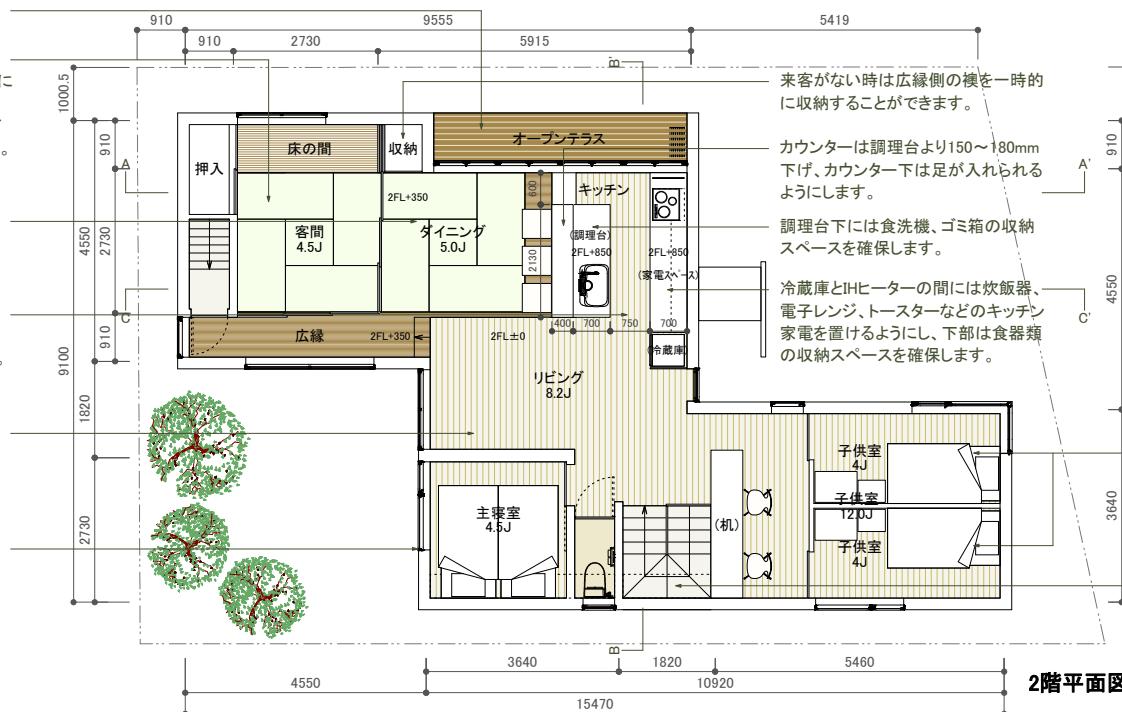
リビング

2階の中心に配置し、リビングを通らなければ各室へ行けないようにします。また、ダイニングの床レベルを2FL+350とし、リビングのソファとしても利用できるようにします。

主寝室

上部にトップライトを設け、ベッドに横になった際は空を眺めることも可能です。

※調光用ブラインドを設けます。



2階平面図 S=1/100

コントロールルーム

スタジオに併設するのは当然ですが、2階へ直接行くことができるよう裏階段も併設しました。

オープンデッキ

西側に隣接する建物は隣地境界から大分離した所に建てられているので、ここにプライベートスペースを設け、南西に開く良好な環境を実現します。

作業室

2階の日常生活の場からちょっとだけ距離をおき、少しでも作業に集中できる場とします。また、目の前のオープンデッキが仕事の合間にほっとできる空間にもなるはずです。



1階平面図 S=1/100



木ルーパー吸音壁参考写真

子供室

将来、分割することで子供室を2室にします。竣工時は大部屋とします。

トップライト

階段上部にトップライトを設け、1階玄関まで自然光を取り込みます。

スタジオ

前提として隣家の近くに配置しないように配慮します。駐車場に隣接させ、機材の搬出入を容易にします。

駐車場・物置

車二台分駐車スペースを確保します。また、バイク整備道具をしまう物置を併設します。

通り庭

分棟配置されたボリュームによって生じたつなぎの間となる外部空間は、外部から連続するアプローチであると同時に私的な領域でもある京都の町家に見る通り庭であるかのように親しみ仲間だけが通ることができる約束事のような雰囲気を出します。

納戸

二面以上の開口部を確保するため建物の角に配置。更に対角線上に窓を設けることで通風を確保します。

坪庭

季節に合わせて鉢に入った観葉植物を並べ、入浴時間を楽しんで下さい。不要な場合は物干し場にすることも可能です。

変更案4

